

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 梅島 清香

- I 開催年月日 令和 7 年 12 月 18 日（木）
- II 会議時間 午前 10 時 01 分～午前 11 時 16 分
- III 出席委員等
- | | | | |
|---------|-------------------|---------|-------|
| 〔出席委員〕 | ◎梅島 清香 | ○高岡 宏和 | 山野井拓也 |
| | 高木 敬介 | 中川加津代 | 上田 武 |
| | 本田 利麻 | 水口 清志 | |
| | (◎…委員長 | ○…副委員長) | |
| 〔議長〕 | 曾田 康司 | | |
| 〔副議長〕 | 中村 清志 | | |
| 〔説明員〕 | 別紙名簿のとおり | | |
| | (福島市民病院長が公務のため欠席) | | |
| 〔委員外議員〕 | 八田 一弥 | 水越 進一 | 山上 尊士 |
| | 田中 勝文 | | |
| 〔事務局職員〕 | 松本 武司 | 島田 輝 | 吉本 昌史 |
| 〔傍聴者〕 | 1 名 | | |

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 107 号 令和 7 年度高岡市一般会計補正予算（第 4 号）のうち本委員会所管分
- 議案第 108 号 令和 7 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 110 号 令和 7 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 111 号 令和 7 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 1 号）
- 議案第 112 号 令和 7 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 3 号）
- 議案第 117 号 高岡市家庭的保育事業等又は乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第 118 号 高岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び高岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第 124 号 高岡市火災予防条例の一部を改正する条例
- 議案第 129 号 指定管理者の指定について（高岡市急患医療センター）
- 議案第 130 号 指定管理者の指定について（高岡市伏木コミュニティセンター）
- 議案第 131 号 指定管理者の指定について（高岡市戸出コミュニティセンター）

及び

議案第 132 号 指定管理者の指定について（高岡市中田コミュニティセンター）

以上、予算議案 5 件、条例議案 3 件及びその他議案 4 件の計 12 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 107 号のうち、藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー事業費について】

- ギャラリーの入館者数が増加しているとのことだが、その要因は。
- △ 令和 7 年度と 6 年度の入館者数を比較すると、4 月から 6 月にかけて特に増加している。これは、6 年度の同時期は令和 6 年能登半島地震の影響により入館者が減少していたが、7 年度はその影響が落ち着いたためと考えている。また、海外からの入館者数が、7 年 11 月末時点で前年度比 163%と増加している。
- 海外からの入館者数が増加しているとのことだが、市内・市外・海外など、入館者の比率は。また、今後の取組は。
- △ 7 年 11 月末時点で、入館者の約 1 割が海外から来られた方である。海外の方を含めて県外からの入館者が全体の約 8 割、残りの約 2 割が県内の方である。ギャラリーは 7 年 12 月 1 日に開館 10 周年を迎え、現在、記念原画展を開催している。これに合わせ高岡駅前で大規模のバナーを掲出するなど、ギャラリーの認知度を高める取組を行っている。今後とも、より多くの方に訪れていただけるよう PR していきたい。

【議案第 107 号のうち、予防接種事業費について】

- 本市が現在実施している新型コロナウイルスのワクチン接種事業の内容は。
- △ 接種の対象者は、満 65 歳以上の方と、満 60 歳から 65 歳未満で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害のある方である。接種期間は令和 7 年 10 月 1 日から 8 年 3 月 31 日までである。
- 直近の接種率は。
- △ 7 年度については 10 月から接種を開始したばかりであるため数値を持ち合わせていない。6 年度の接種率は 19.8%であった。
- 19.8%という接種率についての所見は。新型コロナウイルスのワクチン接種から派生して体調を崩す方もおられると仄聞しているが、本市としては積極的にワクチン接種を推進していくのか。
- △ 接種率についてはコメントのしようがない。接種については、希望する方が接種できる環境を整えていきたいと考えている。
- 65 歳以上の高齢者等を対象とするインフルエンザ、新型コロナウイルス、带状疱疹及び肺炎球菌のワクチン接種率は。

△ 6年度の接種率は、インフルエンザは55.3%、新型コロナウイルスは先ほど回答したように19.8%、肺炎球菌は22.7%だった。带状疱疹は7年度から定期接種の対象となっており、現時点では接種率を把握できていない。

【議案第107号のうち、二上霊苑施設管理事業費について】

○ 二上霊苑のニーズの現状は。

△ 令和6年度は、新規申込みが12件あった一方で、返還が31件となっており、新規申込みよりも返還が多い状況である。

○ 関連で確認するが、福岡町霊園のニーズの現状は。

△ 6年度は新規申込みが0件、返還が2件だった。

【議案第110号について】

○ 認知症個人賠償責任保険の詳細は。また、保険が適用された事例はあるのか。

△ 認知症の方が他人にけがを負わせたり他人の物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負う場合に備え、認知症の方を被保険者とする保険に本市が契約者として加入することで、住み慣れたまちで安心して暮らせる体制を整えている。補償内容としては、1件につき1億円を上限に補償金が支払われる。なお、本市ではこれまで補償の実績はない。

【議案第112号について】

○ 資本的収入の企業債について、経営改善推進事業債が10億7,000万円増額となっているが、今後の用途は。

△ 経営改善推進事業債は、資金不足が生じる見込みで収支改善に取り組む公立病院に対して、国が発行を認めるものである。このため、特別な事業に充てるわけではなく、資金対策や通常の病院運営の中での活用を考えている。

2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

(1) 地域おこし協力隊員（地域交通分野）の募集について

(2) 高岡市多文化共生プラン改定に向けたアンケート調査の実施について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【地域おこし協力隊員（地域交通分野）の募集について】

○ 地域おこし協力隊員に取り組んでいただく業務の内容は。専門性も求められるのか。

△ 今回募集する地域おこし協力隊員には総合交通課の所管で活動していただく。地域交通システムの導入にあたり、総合交通課の職員と連携して、各地域における説

明や交渉等を進めることになると考えている。

○ 地域おこし協力隊員は常勤か。

△ その予定である。

【高岡市多文化共生プラン改定に向けたアンケート調査の実施について】

○ 外国籍市民の調査件数は14歳以上で2,000件となっており、依頼文の言語は、日本語、やさしい日本語、英語、ポルトガル語、中国語及びベトナム語とのことである。この点について理解はするが、現在増加しているインドネシア人の市民にとっては回答が困難との意見を仄聞している。今後、対応策があれば取り入れていただきたい。(要望)

△ 住民基本台帳によれば、令和7年3月末時点でインドネシア人の市民は310人であり、外国籍市民の約7%を占め、市内では5番目に多い国籍となっている。多国籍化が進んでいる現在、市内には50か国以上の方がおられ、その方々への配慮は非常に大切と考えている。今回の調査はオンライン回答としているため、機械で翻訳しやすいと考えているが、多文化共生キーパーソンに周知・協力を依頼するなどの工夫をしていきたい。

○ 外国人のコミュニティを利用することが一番良い方法だと思われる。ぜひ検討していただきたい。(要望)

〔消防本部〕

(1) 消防本部・高岡消防署新庁舎及び高機能消防指令システムの運用開始について

(2) 歳末消防特別警戒・消防出初式・消防艇出初式について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【消防本部・高岡消防署新庁舎及び高機能消防指令システムの運用開始について】

○ 映像通報システム「Live119」について、具体的な利用方法は。

△ 119番の通報者から映像通報の同意を得た後に、通報者のスマートフォンにSMSでアドレスを送信する。そのアドレスをクリックしていただくことでスマートフォンのカメラが起動し、現場の映像を指令センターで確認できるようになる。

○ 他自治体でも導入事例があると思うが、救命率の向上にどの程度寄与するのか。具体的な数値があれば伺いたい。

△ 県内では1つの消防本部が先行して導入しており、今後、本市と同様に富山市と射水市が導入予定と伺っている。具体的な数値は持ち合わせていないものの、指令センターにおいて傷病者の状態が映像で確認できることに加え、指令センターから通報者のスマートフォンに応急手当の方法を動画等で送信することができ、そちらを見ながら通報者が応急手当をできるようになることから、救命率の向上が期待される。

○ 最先端のシステムが導入されるということを、市民に幅広く周知していただきたい。(要望)

- 新庁舎について、強化される機能として「災害時の業務継承のための庁舎の耐震性及び非常電源の確保」とあるが、具体的に、Is 値と非常電源の置き場所は。
- △ 非常電源については屋上に設置する。Is 値については既存の建物の耐震性能を計る数値と認識している。新耐震基準で建てる建物は、一定の保有水平耐力を有しているかを検証するよう規定されており、Is 値ではなく構造計算値にて耐震性能を判断する。Is 値には最低 0.6 という基準があるが、構造計算値では最低 1.0 という基準がある。また、構造計算値にも重要度係数があり、防災拠点となる建物については Is 値と同様に 1.5 倍の耐震性能が求められる。新庁舎については、最低 1.5 という基準に対して、最小で 1.75 の構造計算値を保有している。

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 。次回の本委員会の開催について

令和 8 年 2 月 9 日（月）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（27名）

生活環境文化部長	長 久 洋 樹	市民病院長	福 島 亘
生活環境文化部次長 環境政策課長	大 野 洋 靖	市民病院事務局長	新 田 裕 子
市民生活課長	中 保 哲 憲	総務課長	塩 谷 慎 久
脱炭素推進課長	中 川 正 人	医事課長	池 守 凡 子
地域課長	長 井 剛 志		
文化国際課長	吉 本 恭 子	消防長	有 澤 智 文
男女平等・共同参画課長	竹 内 文 雄	消防本部次長	布 橋 隆 男
市民課長	布 橋 みちる	消防本部参事 通信指令課長	沙 魚 川 文 春
		総務課長	田 中 秀 和
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	予防課長	蔭 浦 幸 雄
福祉保健部次長	上 森 智 美	警防課長	佐 野 吉 英
福祉保健部次長 こども家庭センター長	長 谷 川 聡		
社会福祉課長	関 原 総 臣		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	森 川 朋 子		
長寿福祉課長	徳 市 直 之		
保険年金課長	水 野 篤 美		
健康増進課長	竹 田 裕 子		